

水野先生 こんにちは。

朝起きてすぐエアコンを付けたくない程暑い日が続いていますが、お元気ですか？

短期間でしたが、大変お世話をありがとうございました。とても勉強になりました。今は、うれしい気持ちでいっぱいです。

只今、夏休み真っ最中。この夏休みが来て、最初に思い出したのは、昨年の(息子が3年生の時)夏休み、自由研究です。ある日息子は「お母さん、自由研究はグループで集まて民族資料館で調べるよ。○○君のお母さんが連れてってくれるから、○日にお母さん家で集合になったよ。」私は思いました。「最近は学校に行けるし、歩いて10分もかからない近所の友達の家に集合だし、大丈夫(行ける)だろう…」
そして夏休みに入りました。

自由研究で集まる日の当日、集合時間が近づくにつれて私は、「ほら、そろそろ時間だよ。」「準備したの?」「早く来よさい。」などなど…。そして時間がギリギリになりました。息子は「お母さん、ついで…」とホソリ…。私は、「何言つんの!すぐその○○君の家では!自分で

行けるでは！」… 息子と言い合いました末、時間もきてしまった為、結局 私はついて行く事にしました。
それでも息子は玄関でモジモジ…。そして立…。
家から出ませんでした。

今年の夏休み。ついこの前の事です。「お母さん、自由研究、〇日にグループで集まって風向計を作るから〇〇公園に集合だよ！」と息子が言つきました。
そして当日。「お母さん、行ってくるねー!!」息子は元気に集合場所へ自転車で行きました。

息子が『学校へ行きたくない』と言つたのは2年生の3学期1月の始めてでした。

その頃の私は『何で?』『何が嫌なの?』『何であの子は行けるのに、うちの子は行けないの?』何で、何での嵐…。息子が『学校に行けない日があるとその疑問をそのまま』息子にぶつける毎日でした。いわゆる五月雨登校です。私はそういう事をもちろん知ることなく、1年生になった時には、あの子が困りぽい様に学校の連絡帳は忘れ物がない様にと毎日チェックし、宿題をする時もするべく一緒に付き添いました。

朝には「早く起きなさい」「早く食べなさい、準備してなさい」「あれ持ったの?」「これ持ったの?」

夕方には「宿題したの?」「時間割したの?」「早く寝なさい」
… タイミング…。今思えば口うるさい母でした。

息子3年生の初夏の頃、私と同じ境遇の友人が何冊かの本を借してくれました。その時は、今の所行けるし、今は大丈夫かな…と頭の隅に入れておくくらいでした。しかし、夏休み明けにやっぱりポン・ポンと休み時があり、私は本を本格的に読んで、自分なりに試してみようとしたが、それが「息子3年生の秋、11月頃からです。

そして4年生の新学期が始まりました。少しずつ変わってるかなと思っていましたが、給食が始まて2日目…。「給食が嫌だ…」と言い休みました。

その時です。『もう、1人でやっていいかどうかわからぬいし、電話してみよう!!』と思ったのは。

私は自宅が「愛知県」なので最初は名古屋の上野先生に電話をしました。上野先生も、とてもやさしく、樂しい方でした。五月雨登校ということもあり、私より親切に丁寧に教えてくれますよ(上野先生が言っていました(笑))と水野先生を

紹介して下さいました。

4月末、私はもう二度とあんば思いをしきたいと強く思い、水野先生に家庭教育支援コースでお世話をすることに決めました。

水野先生の第一印象は、話を最後までちゃんと聞く人。
電話でタイミングが一緒にTDI)、同時に話し始めたも、必ず
水野先生が"とまり、話を聞いてくれました。話の途中で
言葉がみづからずに止まつても待ってくれます。というか待ち
ますよね…『先生、この先是解かって…』といの中で
思った時も…(笑。)

私が息子の事を「うちの子は、ものすごく臆病で…」と言うと
先生は「この子は慎重なんですよ。」と言ってくれました。

私は『あ~、慎重ね…』そういう風にうそえればいいんだ
とその時 ものすごく納得して息子への見方が変わりました。

最初はガマンガマンの毎日。言ってからあ~違うって思う
ことや、何て言えばいいんだ?と考えていろうちに会話が
終わってしまう時も…。

でも、みるみるうちに変わった!! 変わった!! と思うことが
私の自信にも繋がりました。

今は夏休み。課外のバスケに入部した見ゆは、
部活がある日は元気に学校へ出かけていきます。この暑さ
です。時には「あ~部活休みたいわあ~」と独り言を言って
いますが、朝に下ると準備して、元気に「いってきます!」と
出かけます。この昨年の夏休みとは大違いでです!!

卒業するにあたって、水野先生は『もし、ひょっとしてつまずいた
時はいつも私たちがいると思えば気持ちが楽ですよ。
がまんしね』とおっしゃっていました。

本当は、『のどかで、もう二度とかける日がないといいな
』と思いつます。ひょっとして…の時はガマンせずに
先生を尋ねようと思っています。

毎週水曜日に、水野先生とお電話が出来るのは
寂しいです。『細かいですが、ヘアレシツキニブで水野先生に
学んだことを今後の子育てにフル活用したい』と思って
います。

水野先生、本当にありがとうございました。

H22.08.06